

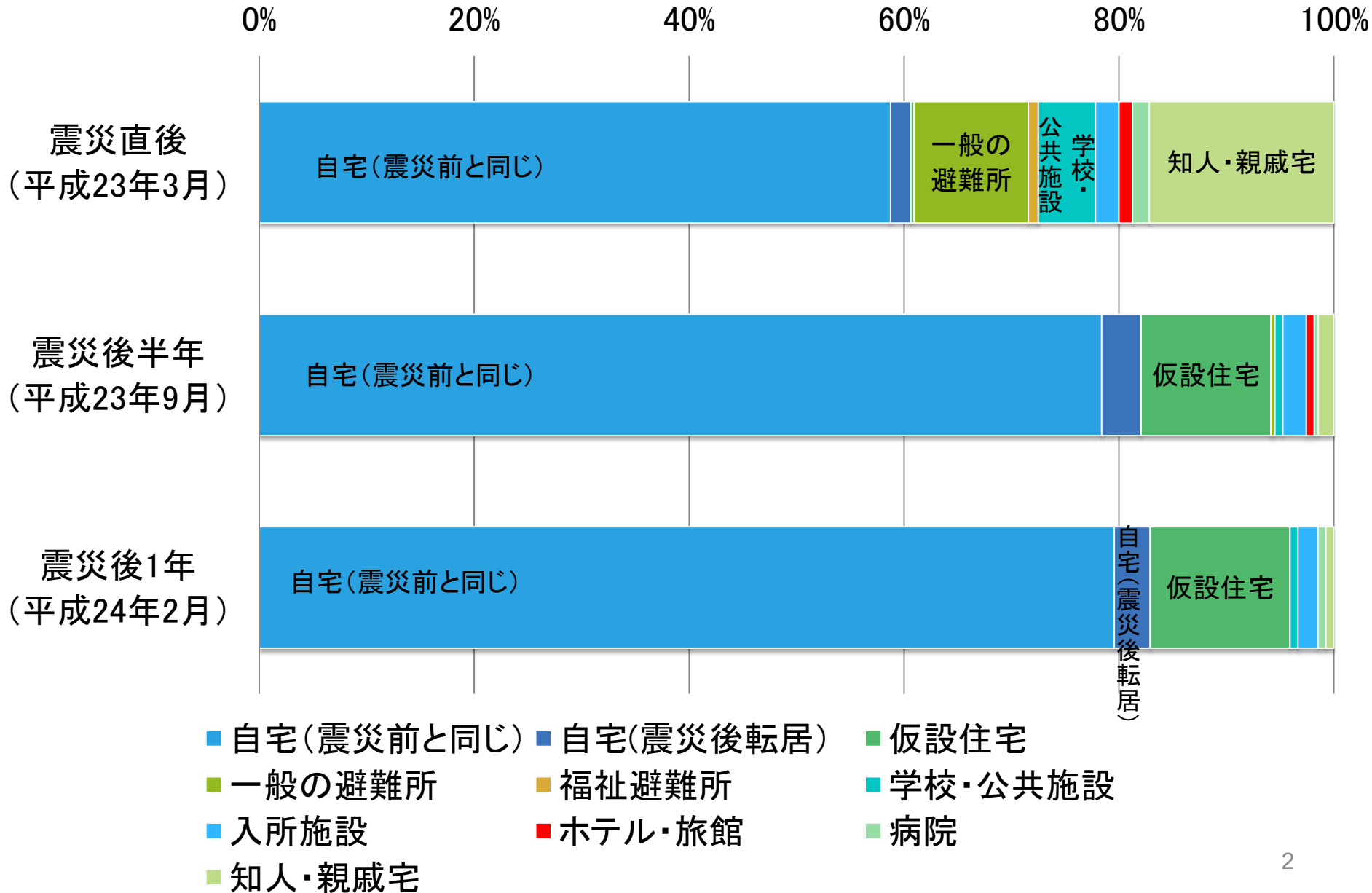
発達障害児・者のニーズを踏まえた 障害福祉サービス等の利用支援に関する調査報告

(その3) 震災後のニーズ ①

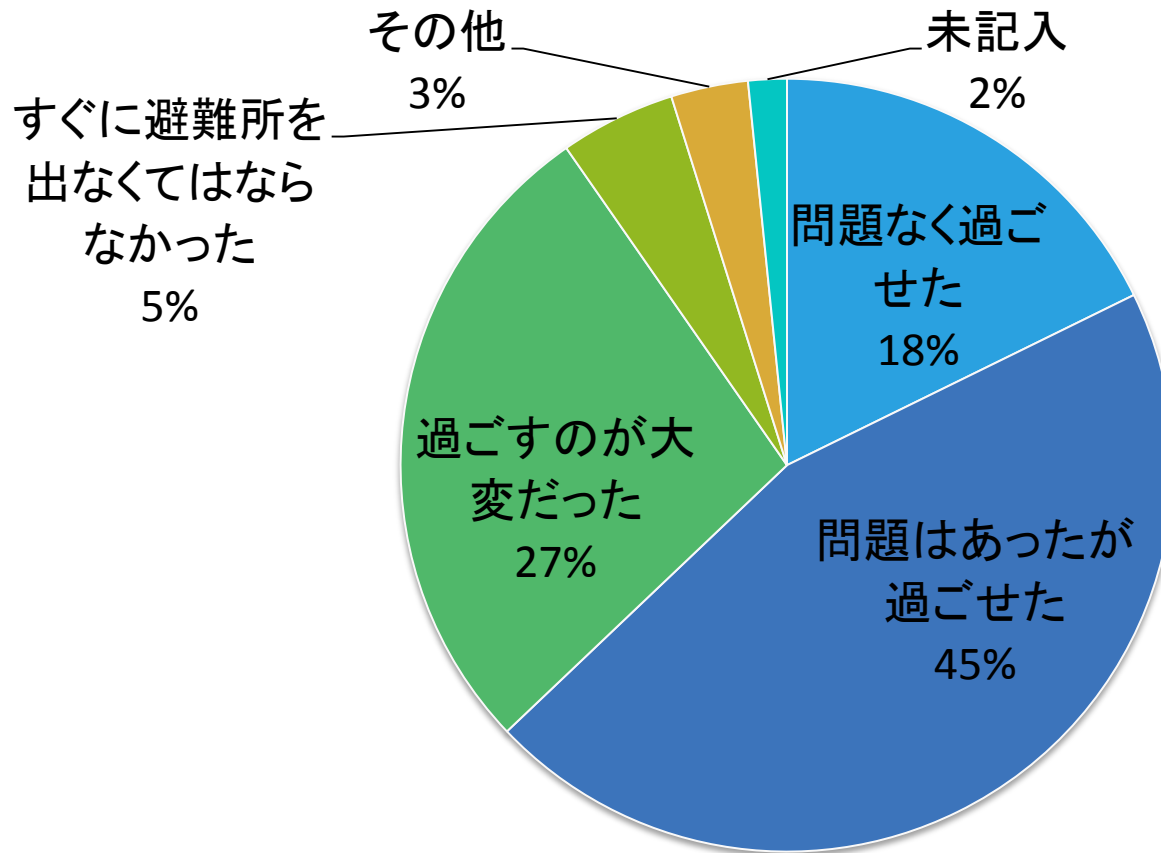
国立障害者リハビリテーションセンター
発達障害情報・支援センター

住まいや避難先の変化

計 276人



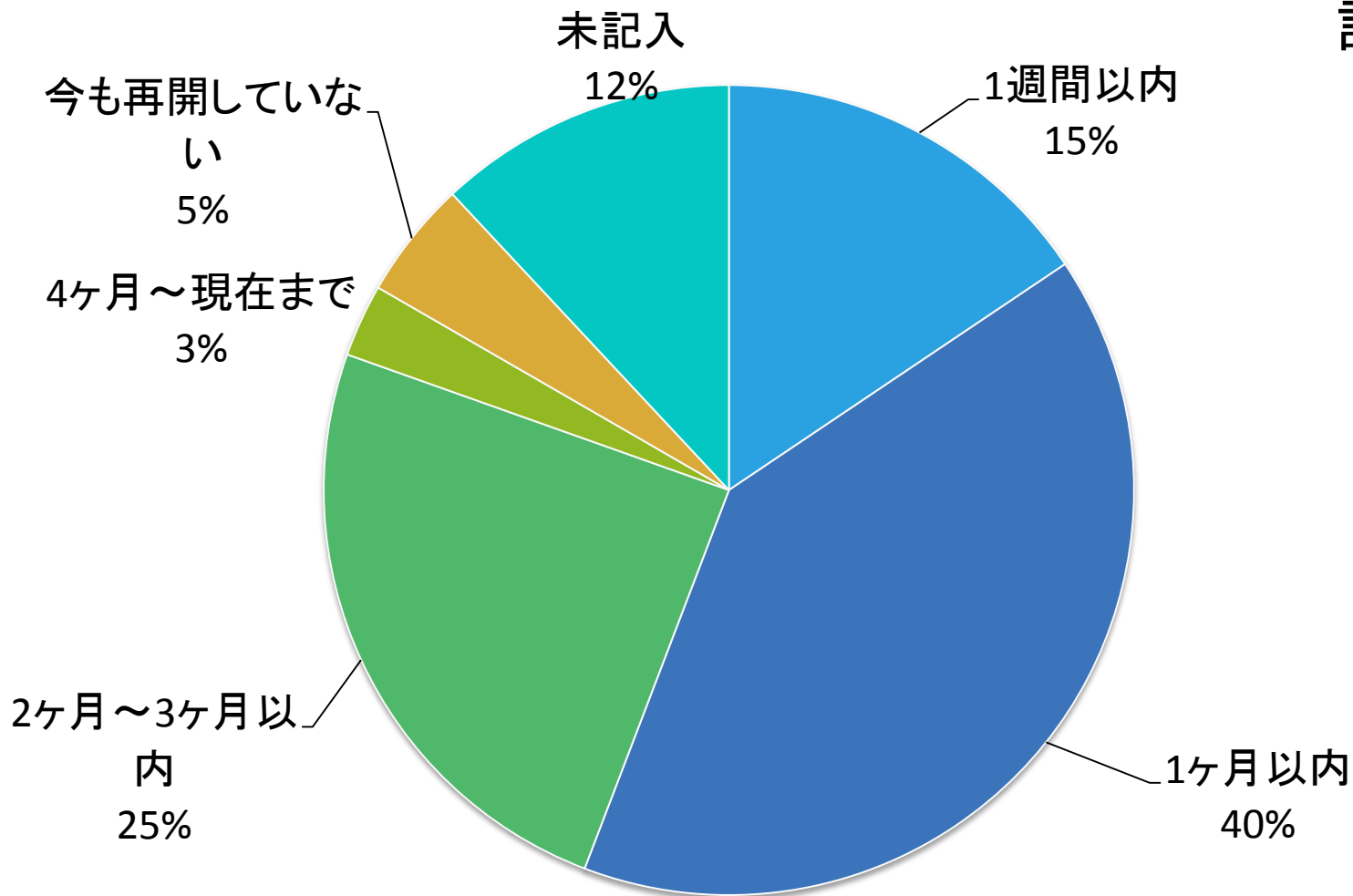
避難所の生活はいかがでしたか



総数 避難所を利用した62人

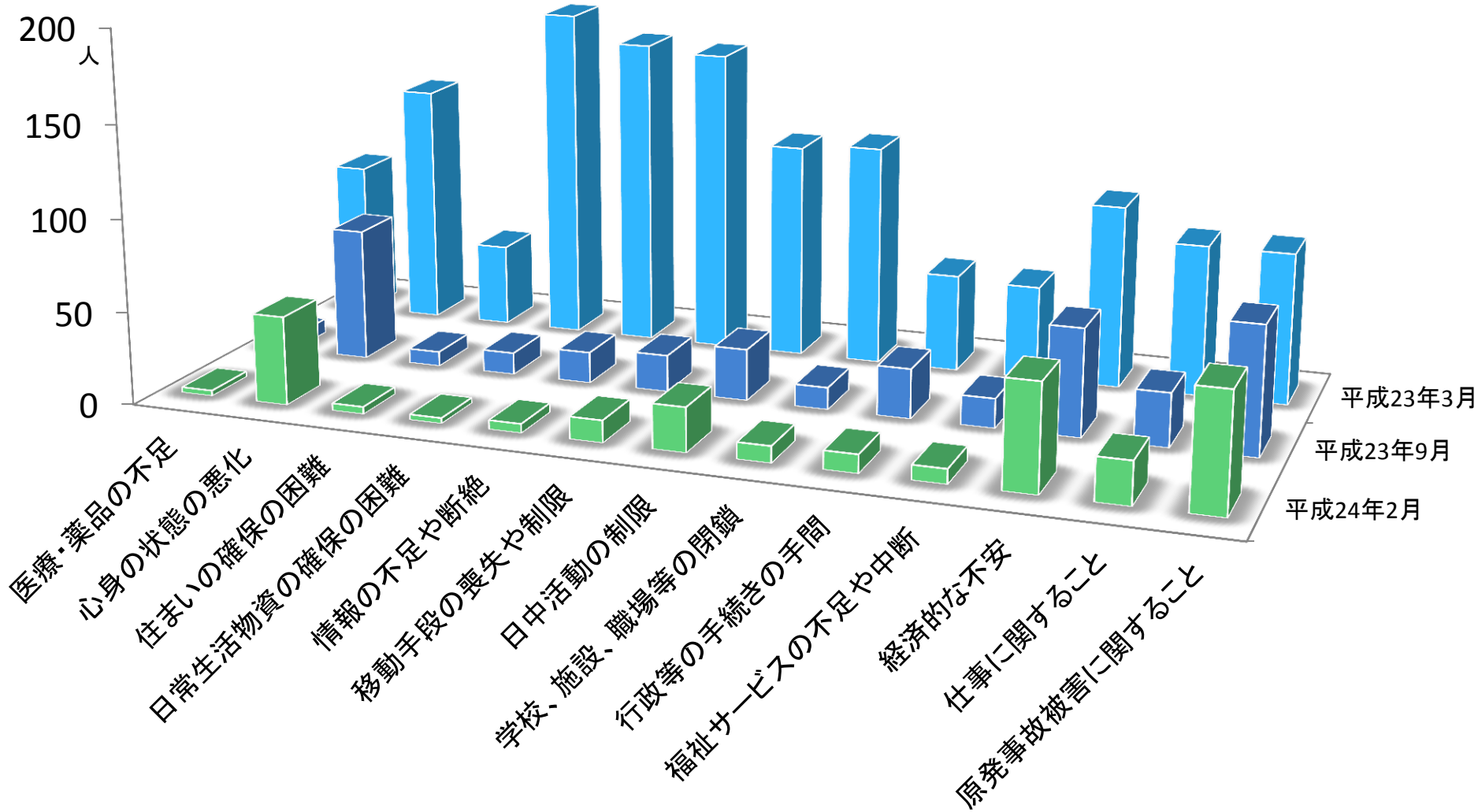
所属先はいつ再開しましたか

計 276人



震災直後（平成23年3月）、震災後半年（平成23年9月）、震災後1年（平成24年2月）に困ったことはなんですか

計 276人



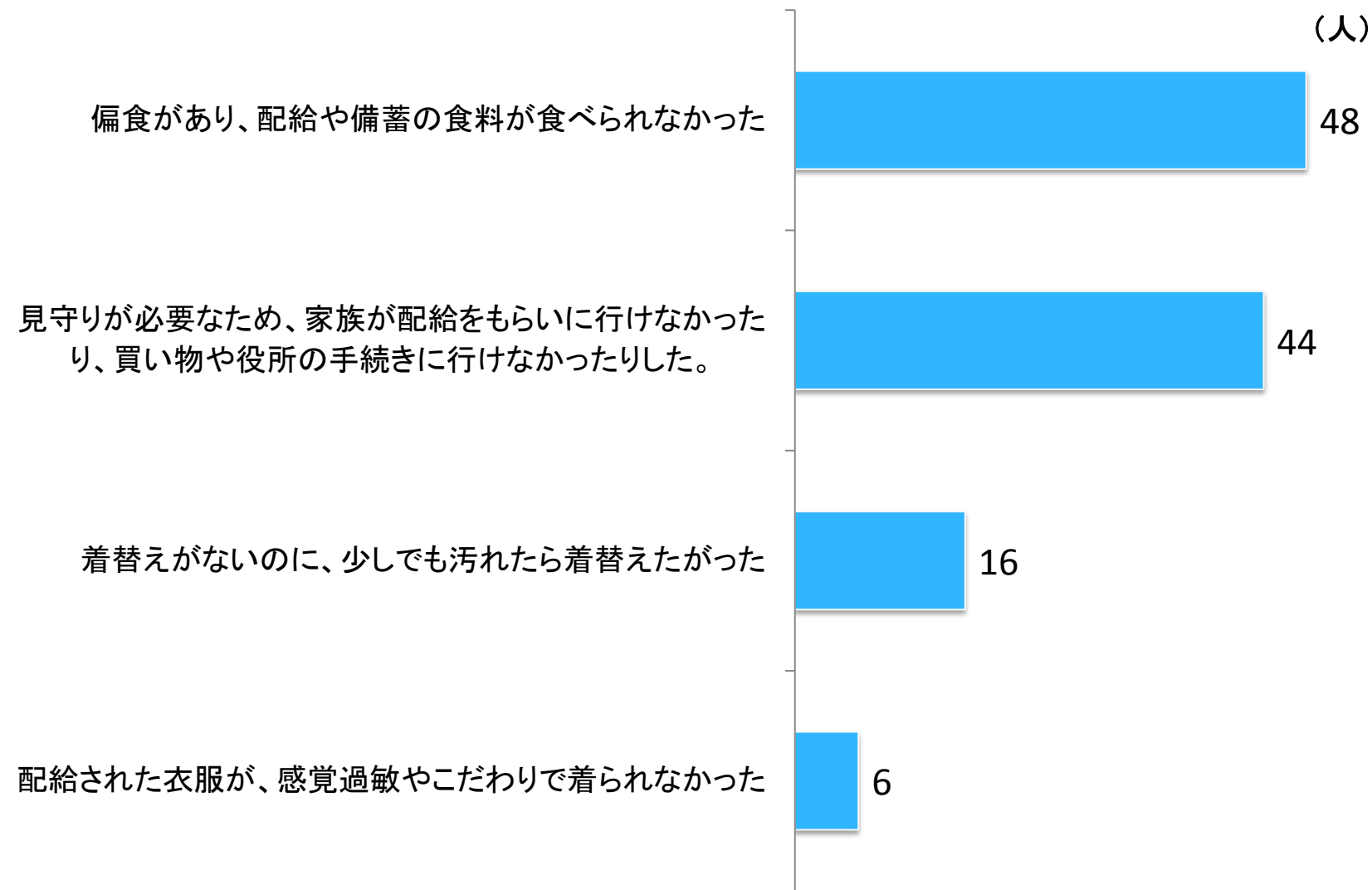
選択式による。複数回答可

お困りだったことについて、項目ごとにかけてお聞きしました。

- 食料や飲料、衣服など日常生活物資の確保に関すること
- 情報提供に関すること
- 住まいや避難先の確保や環境に関すること
- 日中の活動や過ごし方
(学校や施設、福祉サービスなど含む)
- 医療・薬品の確保、健康状態に関すること
- 仕事や雇用に関すること
- その他

結果

食料や飲料、衣服など日常生活物資の確保 総数276人



選択式による。複数回答可

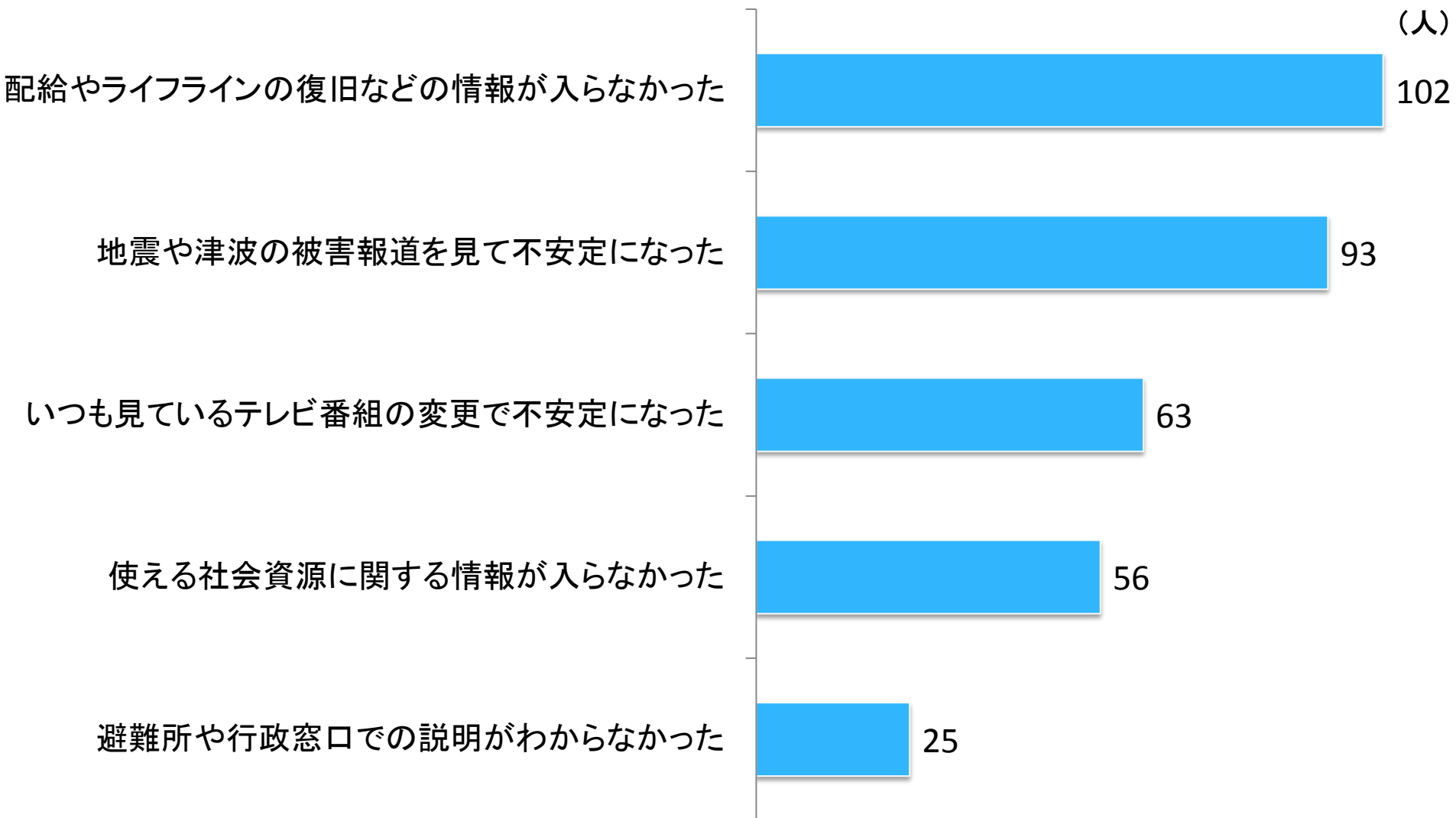
自由記述

食料や飲料、衣服など日常生活物資の確保

- 偏食なため、このような状況でも何でも食べるということがなかったので、関東の友人に頼んでお菓子やジュースを送っていただきました。(6歳)
- ガソリンを入れに行けなくて、まず困りました。障がい児を連れてのあの行列に並ばないといれられない状況はとても無理。(10歳)
- 量が一律で、残すと周囲からは白い目でみられることもあり苦労しました。食べる時間もかかるのに10分くらいで食べる大人と、同じようにされたこともあります。場所、時間をわけるようにしてほしいです。(6歳)
- 非常食はどんなに空腹であっても食べられませんでした。配給は並ぶことが必要、買い物も並ぶことが必要だったので実家と自宅で買い置きしてあったもので過ごしました。(10歳)

情報提供に関すること

総数 276人



選択式による。複数回答可

自由記述

情報提供に関すること

- 情報が入らなくて、どんな物資配給がされているかわかりませんでした。ラジオなどで具体的に知らせてもらえると良かったと思います。(17歳)
- どのテレビ局も地震や津波の報道ばかりで、見ている子どもたちの脳裏にその映像が焼きついてしまい、PTSDを疑う期間もありながら過ごしてきました。子ども向けの放送が必要だと思います。(5歳)
- 情報源はラジオと隣近所からの情報。自宅避難者にとってどこで情報が得られるかわからず、避難所へ行ってみても、誰に聞いていいかわからず、全く地域の情報が得られませんでした。(40歳、ご本人)
- ラジオが役にたちました。

同様のご意見が多数ありました